

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	分娩時の4度会陰裂傷49例の検討
研究責任者	山口 真由、山田 学
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	分娩時の会陰裂傷は1～4度に分類され、会陰から直腸粘膜まで及ぶものが4度会陰裂傷とされています。会陰裂傷が直腸粘膜まで達する場合、感染や排便障害、瘻孔形成など様々な合併症を来す可能性があります。当院での分娩統計を用いて、4度会陰裂傷のリスク因子や治療法について研究を行い、周産期医療の向上に寄与することを目的としています。
研究方法	【研究の方法】 対象は、2008年1月～2021年12月の間に当院で経膣分娩を行った方です。診療録の情報をもとに、リスク因子(年齢、陣痛促進剤の使用など)や4度会陰裂傷の治療法についての情報を収集し、後方視的に研究を行います。 【個人情報の保護】 個人情報の保護に十分配慮したうえでを行います。個人が特定されないよう匿名化を行うことで、誰のデータか分からないようにし、統計解析を行います。 【研究結果の公表】 研究の成果は、学会や論文に公表されます。 研究に同意されない場合は下記までご連絡ください。研究に同意されない場合であっても、不利益を被ることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：山口 真由、山田 学 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604